

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
特別講義 : Special Lectures		4S	1	50分×30回	必修	講義・通年	○
教 員 名	外部講師 : Visiting Lecturers						
授 業 概 要	企業の工業技術者等を講師として招聘し、先端技術の現状や技術者としての倫理観、高専卒業生の社会的役割への要望などの講演を聴く。						
到達目標				評価方法			
1) 技術者としての社会的役割に対する自覚を養うことができる。 2) 技術者としての倫理観を養うことができる。 3) 先端技術の一端に触れることにより、優れた技術者になるためのモチベーションを高めることができる。				講演ごとに提出するレポート(100%)によって評価する。 ただし、1テーマでもレポートが未提出の場合は評価の対象としない。			
学習・教育目標		(D) ①		JABEE基準1(1)		(d)-(2)-a)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
			講演会を8回程度行う。今年度の講演内容は未定である。 昨年度の講演題目は以下のとおりである。 (講義は前後期にわたって適宜分散した日程で実施する)	第16			
				第17			
	第1		知的財産制度(特に特許制度)の概要 (本校教育コーディネータ 黒木良明 氏)	第18			
	第2		環境計測の現状 (㈱片岡計測器サービス 川久保賢隆 氏)	第19			
	第3		企業における制御技術の応用 (宇部興産機械㈱技術開発センター 平泉一城 氏)	第20			
	第4		電子部品実装の実際 (宇部興産機械㈱技術開発センター 中嶋一裕 氏)	第21			
	第5		組込システムの開発 (㈱京都ソフトウェアリサーチ 取締役 社長 奥谷 勉 氏)	第22			
	第6		高専エンジニアの可能性 -私の起業体験から- (㈱ブラテック 岩崎正明 氏)	第23			
	第7		メカトロニクス技術とその応用 (山口大学工学部 江鐘偉 氏)	第24			
	第8		企業が求める人材像について (元㈱富士通九州システムエ ンジニアリング 福浦義彦 氏)	第25			
	第11			第26			
	第12			第27			
	第13			第28			
	第14			第29			
	第15			第30			
自学自習の内容	レポート課題を課す。						
関連科目							
教科書	使用しない						
参考書	本科で使用した専門科目の教科書						
授業評価・理解度	期末に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	制御情報工学科長						
備考							